

労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

株式会社山田製作所

群馬労働局では、局長を本部長とする「働き方改革推進本部」を設置し、所定外労働の削減や年次有給休暇の取得促進、夏の生活スタイル変革（ゆう活）等の「働き方改革」について、企業に働きかける取組を進めております。

平成 28 年 8 月 8 日に、株式会社山田製作所を訪問し、代表取締役社長岸本一也氏に対し、「働き方改革」についての協力要請をするとともに取組内容についての意見交換を行い、更なる取組みへの推進をお願いしました。



岸本代表取締役社長

半田労働局長

【株式会社山田製作所】

本 社 群馬県伊勢崎市香林町 2 丁目 1 2 9 6
設立年月 昭和 2 1 年 2 月 2 6 日
代 表 者 代表取締役社長 岸本 一也
労働者数 1, 5 5 2 名 (2016 年 3 月末)
事業内容 四輪車用機能部品の開発・製造

年次有給休暇の取得促進等について

約10年位前までは、年休取得や定時退社について敬遠する状況があったが、最近では際限なく働ける人が良い人という風潮はなくなってきていると感じている。

働く時間はきっちり働き、仕事以外の時間は家族のために、あるいは自己研鑽に時間を割くことで、結果的に仕事の効率が上がり、会社の成長につながることになる。

山田製作所協力メーカーの会があり、品質や生産性向上等に関して委員会活動をしており、加入している会社は、「働き方改革」等、様々な制度について情報を得る機会がある



左から長岡 Gr. リーダー

並木課長

森本常務取締役

岸本社長

女性の活躍促進について

女性が働きやすい職場環境づくりに関する取組は以前から行っていた。

最近では特に現場に女性が進出してきており、技能士にチャレンジする女性も出てきている。

女性の活躍は管理職登用に限られたものではなく、現場で資格をとり、技術者として活躍してもらうのも女性の活躍できる場であると考えている。

いわゆる管理職ではなくても、技術において後進を指導できる者はおり、資格等級では管理職と同じレベルに位置付けられる。そのような意味での管理職であれば現場でも登用のチャンスは広がると思う。



岸本社長

上土井部長

加藤主任（右奥）

定時退社制について

子育て中の労働者等にはメリットはあるところだが、退社後の時間をうまく活用できないケースも見受けられる。定時退社による時間外労働の削減を定着していくためには、会社だけでなく地域ぐるみで、さらには国や県で定時退社後の労働者が時間を有効活用できるような場所の提供や企画を検討していただきたい。

労働局から

「プラスワン休暇」に関しては、10月にも年休取得促進の一環で取組を進めることになるため、今後も引き続き「働き方改革」（ゆう活・プラスワン休暇）についての取組推進をお願いしたい。

「くるみん」認定を2回取得しているなど両立支援制度が整い、定時退社運動の実施や、年休取得率75%という目標をほぼ全社員が達成しているなど働きやすい職場環境であるため、さらに女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定についても検討していただきたい。

「ゆう活」について、他局で地域の商店街と協力し18時までに入店した場合にサービスを受けられるよう工夫している取組もある。当局としても本日のご意見を踏まえ、「ゆう活」を有効活用できるような取組を検討していきたい。

